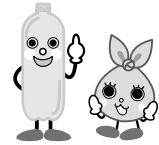


飛騨市の ゴミ処理

第4回 「収集コンテナの 取り扱いについて」



取り扱いには次の「きまり」を守って頂くようお願い致します。

①収集コンテナに名前(地区名や町内名、個人名)を書いたり、取り付けたりしない。

②収集コンテナに付いている取っ手(金具)など附属物を外さない。

③金物をコンテナ内で潰す(足で踏む)などしてコンテナを破損させない。

第4回は「収集コンテナの取り扱いについて」をご紹介します。収集コンテナは各地区に収集までの問貸与させて頂いているものです。

現在、市民の皆さんには綺麗に、そして丁寧に使用して頂いています。特定の地区や個人の所有物ではありません。都度収集毎に前回とは異なった収集コンテナが配布されます。



貸与している収集コンテナ

※朝8時までに所定のステーション(収集場所)に出してください

- 問・クリーンセンター ☎ 0577-75-3069
 ・リサイクルセンター ☎ 0577-75-2121
 ・環境課 ☎ 0577-73-7482

みんなで活かして
楽しい毎日!

飛騨の薬草を学ぶ 教養講座

イチョウ

紅葉シーズンを迎え、市内各地でイチョウの葉が色づき始めました。

イチョウは大変寿命の長い樹木で、例えば古川町の福全寺の大銀杏は樹齢700年以上と言われています。

この時期、イチョウの木のそばを通ると、鮮やかな黄色に色づいた葉に思わず目を奪われますね。イチョウの葉が全部落ちると雪が降るなんて話も聞く、私たちに身近な樹木です。

そんなイチョウにも素晴らしい効果があります。

まずイチョウの葉から、7月頃までの青いイチョウの葉には、脳の老化を防ぎ、血流改善に効果がある成分が含まれるとされ、ドイツでは高血圧や脳卒中、心臓病に用いるエキス薬が作られています。これはイチョウの成分フラボノイドにより血管壁を柔軟にしたり、様々な病気の原因になる活性酸素を除去したりする働きがあると考えられるからです。

しかしイチョウにはとり過ぎると体に害になる成分が含まれますし、薬を服用している場合は、影響が出ることもあるため注意が必要です。そういったことが心配ならば、その成分を除去したものが市販されているので、そちらを利用してください。また7月過ぎから黄色くなる頃の葉は、殺菌・防虫効果のある成分が出てきますので、決して食べたりしないでください。昔のタンシや畳の下からイチョウの葉が出てくるのは、その効果を利用したもので、イチョウの特性を活かした素晴らしい生活の知恵です。

ギンナンはこの時期、産直市場などで手に入ります。封筒に入れ、レンジではじかせて食べるのが簡単ですし、茶碗蒸しにも入れますね。ギンナンを煮る、焼く、煎じる等して体に取り入れると、咳止め、痰切り、滋養強壮の効果がありますし、体を温めるので夜尿症にいいと聞いたこともあるでしょう。食べ始めると止まらなくなり、嘔吐や頭痛などを引き起こすことがあるので注意してください。

イチョウの効果を書き出せば、スペースが足りなくなるほどたくさんありますが、一方でとり過ぎは注意が必要です。上手に体に取り入れて、これから迎える冬に備えましょう。



(村上光太郎「薬草を食べる」より)

問 企画課 ☎ 0577-73-6558